

おおるいしょうがっこうかんきょうほうしん
大類小学校環境方針

わたしたちは、大切な資源と地球を守るために、
みんなで環境を少しずつよくしていきます。

1. 電気の使う量をへらします。

2. 水を大切に使います。

3. ものを大切に使う、リサイクルに心がけ、
ごみを減らします。

4. 校内をきれいにします。



(2) 環境活動の手引き

おおるいしょうがっこうかんきょうかつどう てび 大類小学校環境活動の手引き

でんき 【電気】

- 使っていない教室の電気は消す。
- トイレやろうかなど、だれもいない時は、電気を消す。
- 使っていない電気製品のコンセントを抜く。

【水】

- 水を出しっぱなしにしない。(手をあらうとき・歯をみがくとき・そうじをするとき)
- 使ったあとは、じゃぐちをしっかりとしめる。

【ごみ・リサイクル】

- ~~○牛乳パックは、あらってリサイクルする。~~
- ペットボトルキャップをたくさん集めて、ワクチンにする。
- いらぬ紙は、資源回収で集める。
- 給食を残さず食べる。
- ものを大切に使う。

【そうじ】

- ごみが落ちていたらひろう。
- 学校がきれいになるように、そうじをがんばる。
- 「自分たちの学校をきれいにしよう」という気持ちをもつ。



地域とともに取り組む環境活動

高崎市立大類小学校

1 取組の概要

本校では、地域の方々と一体となって環境教育を進めています。主な活動としては、「親子孫三代除草作業」、「プランターへの花植え」があります。さらに「エコキャップ運動」にも取り組んでいます。

2 令和4年度の活動内容

(1) 親子孫三代除草作業 —親子孫・地域の方々と力を合わせて—

「自分たちが学ぶ場所を自分たちできれいにしよう」、「子ども（孫）たちが気持ちよく勉強できるようにしよう」、「地域の子どもたちの通う学校をきれいにしよう」との思いで、毎年8月下旬に、親子孫三代除草作業が行われています。



除草作業の様子

しかし、今年度は感染症対策のため、夏休みには集まることができませんでした。そこで、2学期が始まってから、学年や学級単位で、草むしりや石拾いをしました。

花壇の手入れも行き届き、きれいな環境の中で、気持ちよいスタートを切ることができました。

(2) エコキャップ活動 —家庭と協力して集めよう—

本校では、2011年度から「エコキャップ運動」に取り組んでいます。東西それぞれの児童用玄関に1カ所ずつ計2台の回収ボックスを設置し、環境委員が中心となり、委員会の時間にペットボトルキャップを集めています。



身近にあるペットボトルキャップが病気の子どもを救うワクチンに姿を変えろという活動を通して、子どもたちはエコへの意識を高めることができると同時に、命の大切さをも学ぶことができます。子どもたちは、「一人でも多くの命を救おう」という気持ちをもって、自ら進んで家庭に呼びかけています。家庭や近くの公民館からの協力も得られ、毎週たくさんのペットボトルキャップが集まっています。今年度は約20袋集まりました。

来年度も、「みんなで地球と子どもを救おう」というスローガンのもと、今後も、この活動を継続していきたい

いと思っています。

(3) プランターへの花植え —PTA 環境委員会の方々との協力—



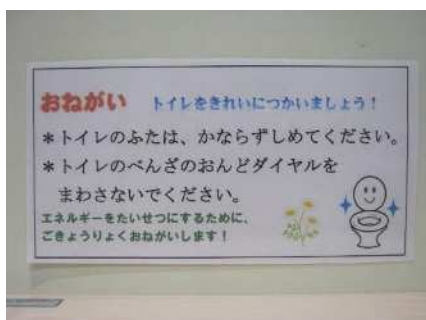
毎年、年末に、PTA環境委員の方々、プランターに花を植えにきてくださいます。パンジーやビオラ、ノースポールなどの苗をプランターに植え込み、3月までの間、花の世話は環境委員の児童が行います。

この活動により、花壇に花が少ないこの季節でも、児童用玄関は花であふれています。そして、卒業式には、この花たちが卒業する6年生の花道をきれいに飾ってくれます。

(4) 児童環境委員会の活動 —環境を整えて気持ちよく—

環境委員会の主な活動は、花の苗植えや水やり、グッピーなどの飼育、ポスターの掲示、清掃用具の点検、節電・節水の呼びかけなどで、自分たちの学校の環境を整え、全校児童が気持ちよく過ごせるために、当番を決め、休み時間を利用して活動しています。

節電の呼びかけ



花壇の世話



エコキャップ感謝状



ポスター掲示



魚の世話・水槽の掃除



3 取組の見直し及び今後の活動

今後も学校・家庭・地域が一体となつての活動を継続していくとともに、各教科や総合的な学習の時間などに関連させたり、委員会活動を通して、エコや節電・節水を呼びかけたりするなど、より横断的な活動ができるようにしていきたいと考えていま

